

2026年2月10日

岐阜大学医学部附属病院の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「カテーテル関連血流感染症の診断におけるカテーテル先端培養の有用性：観察研究」への協力をお願い

感染症寄附講座では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2010年1月1日～2025年12月31日の間に、岐阜大学医学部附属病院において、外来診療あるいは入院診療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2029年12月31日

研究目的・利用方法：

中心静脈カテーテルに代表される血管内留置カテーテルは医療を受けるにあたって必要な機器の一つになっています。ですがそれに伴う感染症も患者さんにとって大きな問題になっています。血管内留置カテーテルに関連する症状だけでは診断が困難で、血液培養や抜去したカテーテル先端の培養検査が用いられます。そこで本研究では、血管内留置カテーテルに関連した感染症の診断に関わる要因を明らかにすると同時に、留置していた血管内カテーテルの培養検査が診断にどのような影響を与えるかを明らかにします。

研究に用いる試料・情報の項目：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

カテーテル先端培養提出日の検査・評価項目

年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、入院日、退院日、転帰

一般身体所見：呼吸数、酸素飽和度、体温、血圧、心拍数

血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数

生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、LD、BUN、

Cre、Na、K、Cl、CRP、プロカルシトニン

微生物検査結果：カテーテル先端培養の培養結果・薬剤感受性検査結果

血液培養の培養陽性時間・培養結果・薬剤感受性結果

自他覚症状

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：研究実施許可日以降

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりませ

ん。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出てください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座
氏名：手塚直行

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座
電話番号：058-230-6448
氏名：手塚直行

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp